

由布川っ子



由布市立由布川小学校
学校通信 第22号
令和5年 8月26日(土)
文責 校長 森次 晃

2学期スタート

8月25日(金)いよいよ2学期の始まりです。大分県内では別府市と豊後高田市を除くすべての市町村で、始業式が行われました。

最近9月1日スタートにならなくなったのには、いくつかの理由があります。一つ目は授業時間の確保です。年間200日程度の授業日が必要になるのですが、最近台風や大雨による臨時休業が年間2~3日(今年度も既に1日)は毎年あること、コロナウイルス等の感染症による学校閉鎖の可能性もあることなどから、5日程度夏休みを短くするようになってきています。2つ目は、全教室にエアコンが設置されたこととも思います。

本校でも始業式が行われました。まず式に先立ち転入生(3名)の紹介を行いました。

そして、3名の子どもたちが2学期の目当てを発表しました。とても素晴らしい内容でした。自分のこれまでの反省に基づき、

的確な目標を掲げ決意を述べていました。職員室で聞いていた教職員の中から、「私も見習わんと」という声が聞かれるほどでした。

私からも2学期特に頑張ってもらいたいことを伝えました。**①自分の限界に挑戦すること②「挑戦する」友だちを応援すること**です。



まずは運動会で、その姿がみられればと思います。



朝の登校指導では、1学期同様に元気な姿がまたみられました。やはり子どもの姿はいいですね。保護者の方々ともお話しすることができました。ありがとうございます。

判断力について①

本校の子どもたちにつけたい力として、判断力を掲げています。今の子どもたちの様子を紹介しながら、少しずつ説明します。子どもが判断を下すとき、周りの様子を見て決めるという判断の仕方があります。(大人でもありますよね)このこと自体は、結構理にかなっています。大勢の人間が良しとした判断に沿うので、それほど変な選択ではないからです。しかし、このことに頼りすぎるといささか問題があります。

判断が間違っていた時、理由に基づいて振り返りができないのです。つまり、①判断に自分の責任を負わない ②なぜその判断をしたのか考えない ということです。本校の課題の「あいさつ」や「廊下の歩き方」にも反映しています。友だちがするからする。友だちが歩くから歩くという判断では、友だちがしないとならない。友だちが走っていると走るということになります。現状では、まだまだそういう傾向が強い気がします。

では、自分の判断で行動するには・・・ (次号に続きます)